ITOMIC

工事要領書

製品名：業務用小型エコキュート
型　式：CHP-300UK-2

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。
※この取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。

株式会社日本イトーミック
〒 131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2 東京スカイツリー イーストタワー 24F
TEL:03（3621）2121（大代表）　FAX:03（3621）2130

ENG 課（修理依頼承り先）　TEL:03（3621）2133　FAX:03（3621）2130

もくじ

共通項目 …… 2

安全上のご注意 …… 3

仕様 …… 5
製品仕様 …… 5
外形寸法および内部構造図 …… 6

工事要領 …… 10

施工する …… 11
設置工事 …… 11
配管工事 …… 14
電気工事 …… 15
試運転 …… 17

アフターサービス …… 19
消耗品の定期交換について …… 19
補修用性能部品について …… 19
修理をご依頼の際には …… 19

共通項目

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。設置の前に、必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で設置してください。製品引き渡しの際は必ず本書をご使用になられる方にお渡しください。

警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。

⚠ **警告**	この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容が描かれています。
（左図の場合は『高温注意』という意味です。）

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
⃠の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は『分解禁止』という意味です。）

●の記号は、しなければならない行為（強制行為）を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。）

重要事項：必ずお守りください

⚠警告	
●	**電源配線は所定の電線を使用し確実に配線してください。** 火災、感電、やけどの原因となります。
	端子部に電線の外力が伝わらないよう確実に固定してください。 火災、感電、やけどの原因となります。
	必ず漏電ブレーカの動作を確認してください。 万一の故障等による漏電発生時に感電、火災のおそれがあります。
	電圧は定格電圧の± 10%以内でお使いください。 火災の原因となります。
	上水道工事や電気工事は必ず指定の業者が行ってください。 事故や故障の原因となります。
⃠	**アース線はガス管や水道管、および電話線や避雷針のアースに接続したり、他の電気機器のアースと共用しないでください。** 火災や爆発など事故の原因となります。
	屋内に設置しないでください。 万一冷媒が漏れると、室内が酸素不足になるおそれがあります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	熱源機ユニットに冷媒チャージをしないでください。 本体故障の原因となります。（冷媒チャージをできる構造ではありません）

⚠警告

🚫	**配線を途中で接続したり、電源コードを束ねたり、より線や延長コードの使用、タコ足配線はしないでください。** 火災、感電、やけどの原因となります。
⏚	**アース（D 種接地）工事を確認してください。** アース工事がされないと故障や漏電発生時に感電するおそれがあります。
🛠	**絶対に改造はしないでください。** 火災、感電、やけど、本体破損やケガの原因となります。

⚠注意

❗	**各ユニットの満水質量に耐えられる十分な強度を持つ床面に必ず水平に設置してください。** 故障の原因となります。
	電源配線は所定の電線を使用し確実に配線してください。 火災、感電、やけどの原因となります。
	端子部に電線の外力が伝わらないよう確実に固定してください。 火災、感電、やけどの原因となります。
	電源工事を行う際は、漏電ブレーカを OFF にしてください。 感電の原因となります。
	ヒートポンプ配管、継手部分には保温工事を施してください。 やけどや機器の機能が低下するおそれがあります。
	水の凍結が予想される所では凍結防止処置を施してください。 配管が破損するおそれがあります。
🚫	**次のような場所には据付けないでください。** 火災や感電、予期せぬ事故の原因となります。 ◇水平でない場所 ◇湿気の多い場所 ◇水はけが悪い場所 ◇可燃性のガスが漏れるおそれのある場所 ◇塩害地（耐塩害仕様を除く） ◇運転音や振動が気になる場所 ◇最低気温が-5℃以下になる場所 ◇小動物（虫やカエルなど）のすみかになるような場所 ◇不安定な場所 ◇船舶や車輌 ◇天吊架台工事 ◇メンテナンススペースを確保できない場所
	水道水以外は使用しないでください。 井戸水などを使用すると腐食などにより漏水するおそれがあります。
	水道水に添加物を混ぜないでください。 健康を害したり、漏電、漏水、故障の原因となります。

製品仕様

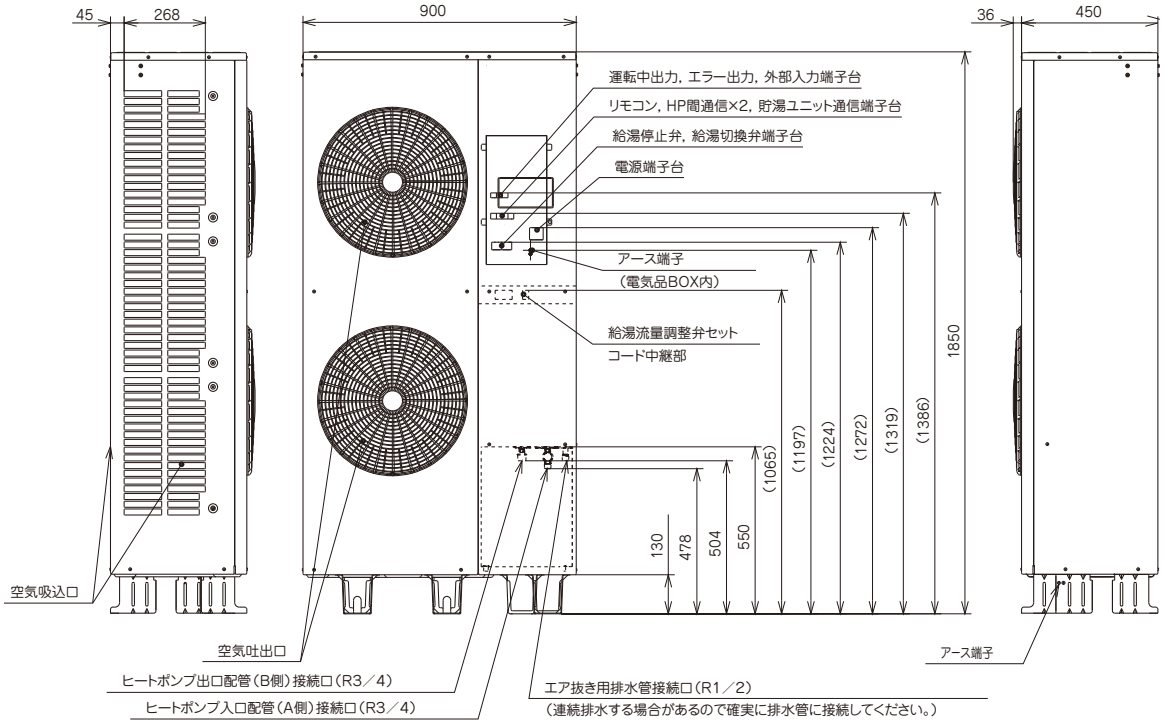
型式		熱源機ユニット、貯湯タンクユニットセット（型式：CHP-300UK-2）	
		熱源機ユニット（型式：CHP-15HF）	貯湯タンクユニット（型式：CHP-300TK-2）
定格	電圧	三相 200V	
	周波数	50 ／ 60Hz	
最大電流		24A	
設置場所		屋外	
外形寸法（突出部除く）		W900 × D450 × H1850mm	W627 × D740 × H1743mm
製品質量		174kg（満水時：177kg）	80kg（満水時：380kg）
貯湯量		ー	300L
加熱能力		15kW	ー
沸かし上げ温度設定※1		65 ～ 90℃	ー
冷媒／封入量		CO_2（R744）／ 1.18kg × 2サイクル	ー
圧縮機	圧縮機構	横型密閉型スクロール	ー
	モーター	DC ブラシレスモータ	ー
最高使用圧力		0.49MPa	0.49MPa
一次側給水圧力		0.2 ～ 0.5MPa	
一次側使用水温		65℃以下（凍結しないこと）	
使用雰囲気温度	一般地	-5 ～ 43℃	
	寒冷地	-20 ～ 43℃	
空気熱交換器		クロスフィンチューブ	ー
水熱交換器		螺旋型	ー
配管接続口	往き	R3/4（20A）オネジ	R3/4（20A）オネジ
	戻り	R3/4（20A）オネジ	R3/4（20A）オネジ
	給水	ー	80A フランジ
	給湯	ー	80A フランジ
	排水	ルームドレン口Φ35、Φ20／エア抜き用 R1/2（15A）	R3/4（20A）オネジ
	接続口（C）	ー	ー
	接続口（出入）	ー	ー
安全装置		凍結予防	
		冷媒圧力保護 過電流保護 温度上昇防止	ー
塗装色		ベージュ （マンセル値：5Y7/2）	ダーコアイボリー （マンセル値：9.0GY7.5/0.7）

※ 1：連休などで2、3日お湯を使用しなかった場合には放熱により貯湯水温が低下します。

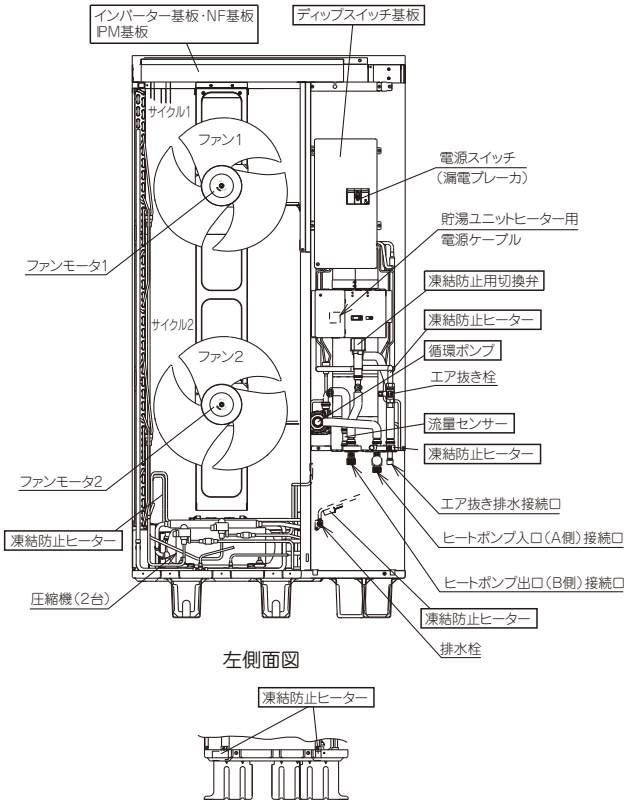
外形寸法および内部構造図

■ ヒートポンプユニット外形寸法図（CHP-15HF）

（単位：mm）

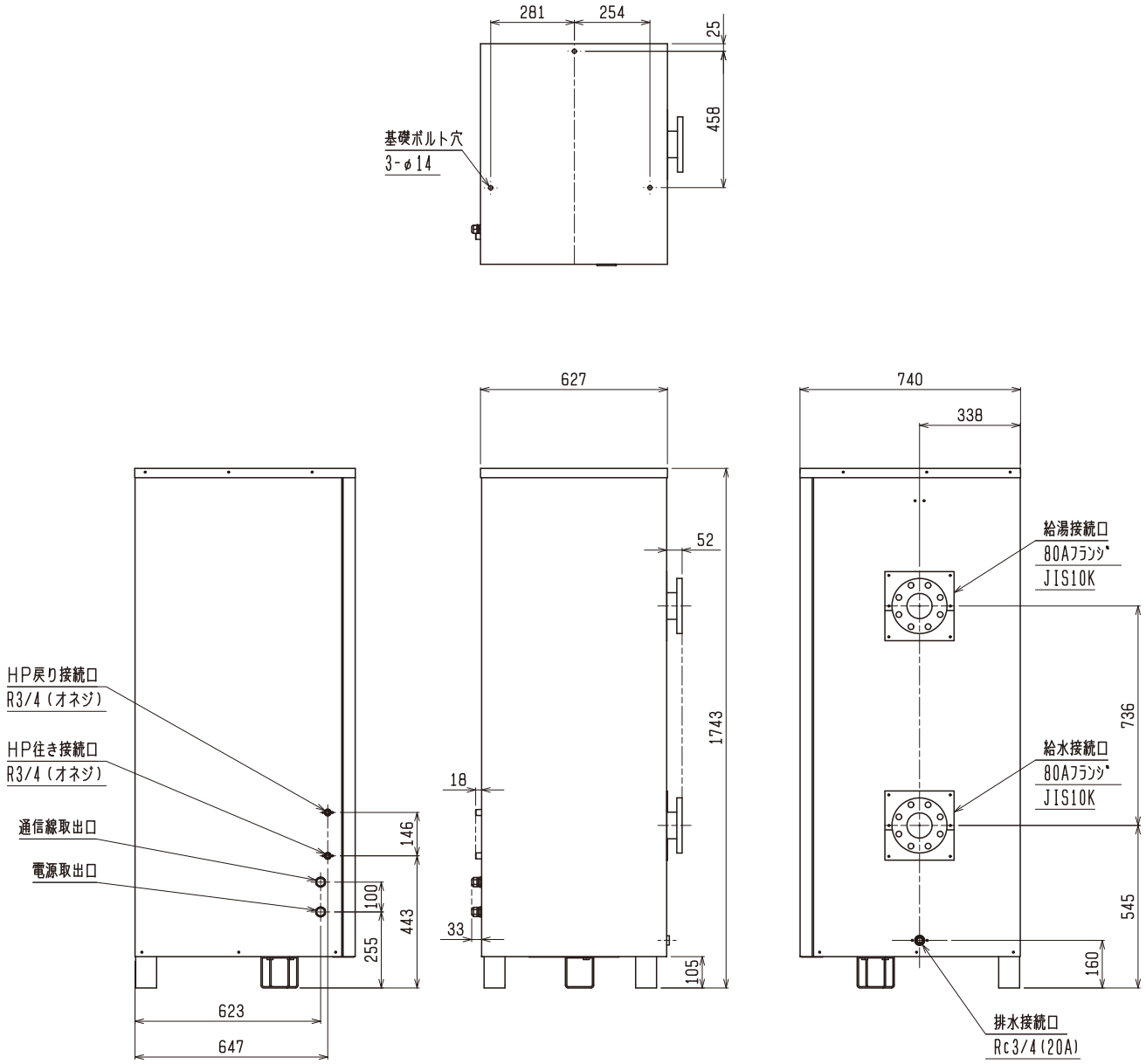


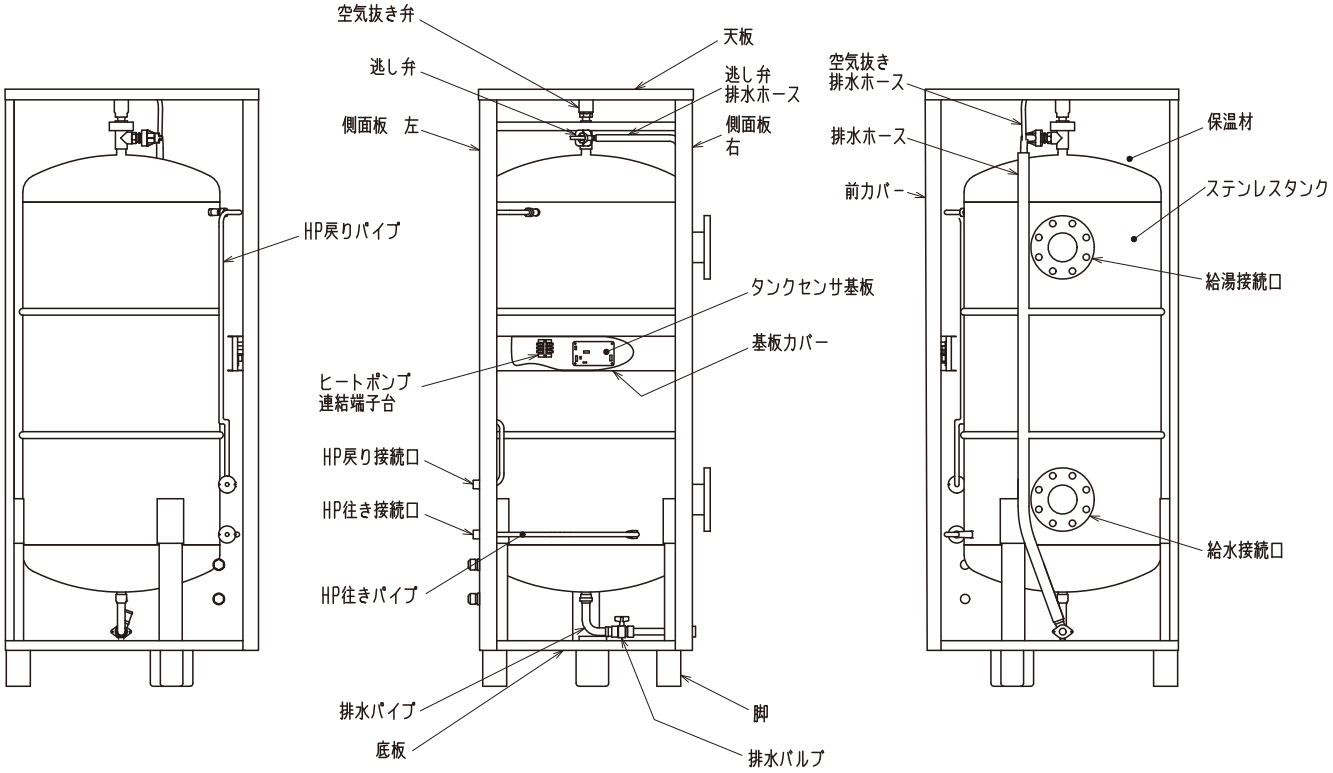
■ ヒートポンプユニット内部構造図（CHP-15HF）



仕様

タンクユニット（CHP-300TK-2）




空気抜き弁
逃し弁
側面板　左
HP戻りパイプ
天板
逃し弁
排水ホース
側面板
右
タンクセンサ基板
基板カバー
ヒートポンプ
連結端子台
HP戻り接続口
HP往き接続口
HP往きパイプ
排水パイプ
底板
脚
排水バルブ
空気抜き
排水ホース
排水ホース
前カバー
保温材
ステンレスタンク
給湯接続口
給水接続口

MEMO

工事要領

正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工する

設置工事

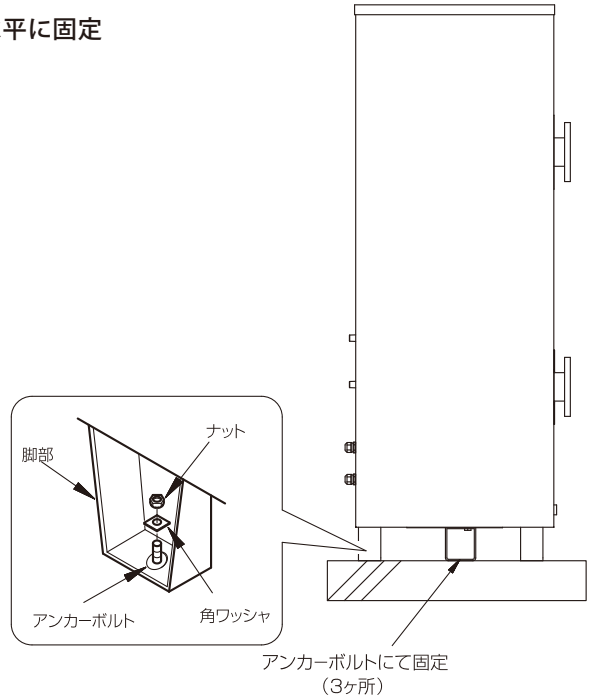
熱源機ユニット

①堅固な基礎の上にアンカーボルトで必ず水平に固定
してください。

設置の際は以下の点にご注意ください。
●消防法およびこれに準ずる各都道府県条例に必ず従ってください。
●運転音が大きくなることがあるため、熱源機前面を壁側に向けて設置しないでください。
●熱源機の後ろにあるサーミスタ部に、直射日光や反射光などが当たらないように設置してしてください。
●水系統の配管に熱源機の風が当たらないように設置してください。
●通気性の悪い場所、または強風が直接当たる場所には設置しないでください。
●簡易基礎に設置する場合は、必ずコンクリート製のものを使用し熱源機脚部下に防振用ゴムを挟んでください。

貯湯タンクユニット

①堅固な基礎の上にアンカーボルトで必ず水平に固定
してください。(3か所)



設置制約

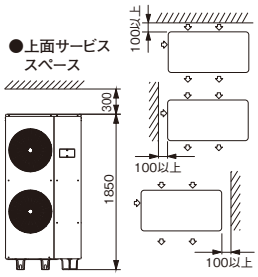
機器の性能を保持するために以下に示した寸法の確保が必要です。

壁面から熱源機ユニットまでの距離

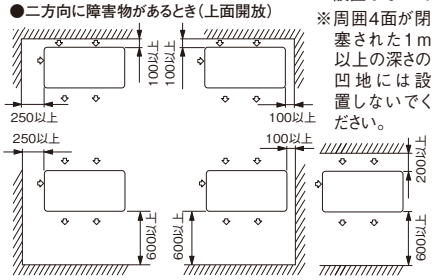
■ヒートポンプユニット

●一方向に障害物があるとき（上面開放）

●上面サービススペース



●二方向に障害物があるとき（上面開放）

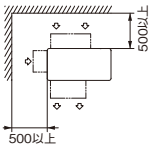


※三方向に障害があるときやビルトイン設置をする場合は、販売店にお問い合わせください。

※屋外設置の機器ですので屋内には設置しないでください。

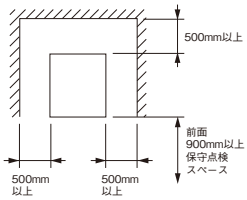
※周囲4面が閉塞された1m以上の深さの凹地には設置しないでください。

防雪フード（別売部品）設置の場合（上面開放）



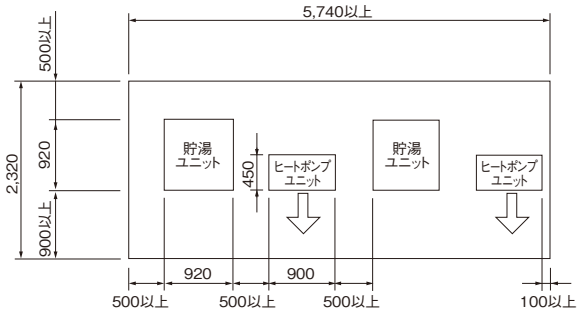
※積雪地区に据え付ける場合はユニットに防雪フードと高置台等を使用するなど、雪が空気吸込口、吹出口から入らないようにしてください。

■ 貯湯ユニット



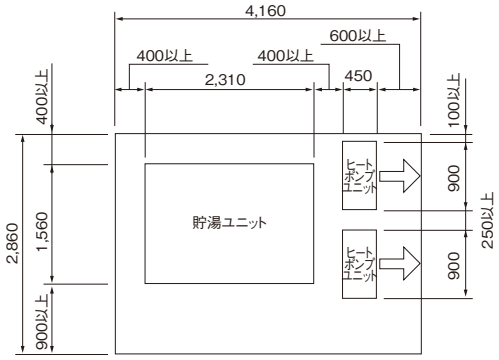
熱源機ユニットと貯湯タンクユニット間の距離

●横一列設置の場合



※必要設置スペース:2,320以上×5,740以上（上記は上面開放を前提とします）

●前後二列設置の場合



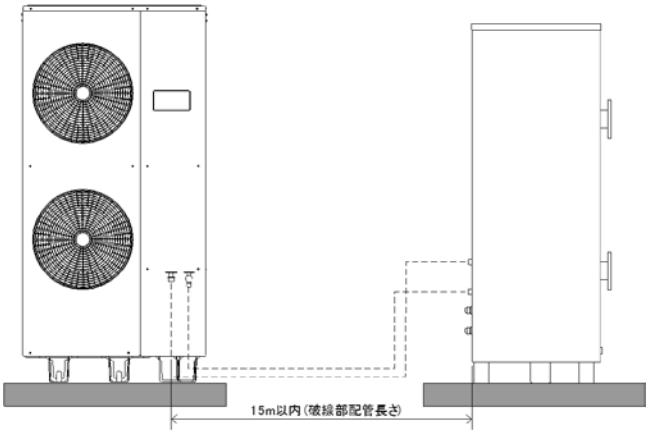
※必要設置スペース:2,860以上×4,160以上（上記は上面開放を前提とします）

配管工事

配管工事の制約

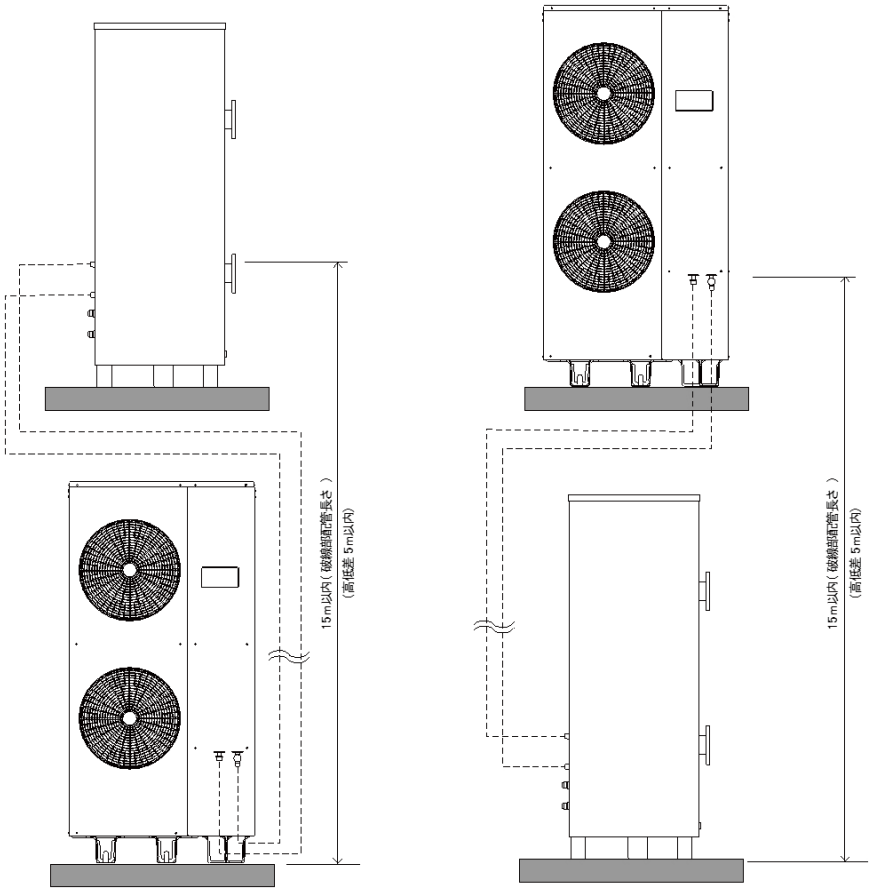
熱源機ユニットと貯湯タンクユニットを水平に設置する場合

●各ユニットを水平に設置する場合の使用限界は15m以内※です。(配管条件：20A、片道 10曲がり以内)
※放熱、配管抵抗、電気配線の面から5m以内が理想です。



熱源機ユニットと貯湯タンクユニットを上下に設置する場合

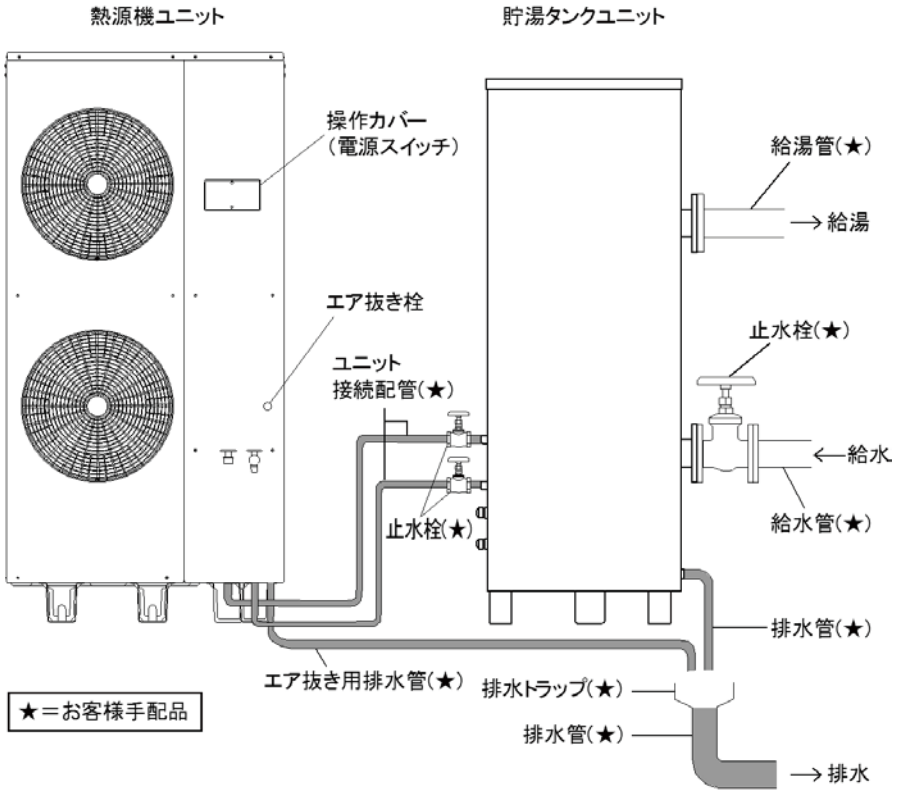
●熱源機ユニットと貯湯タンクユニットを上下に設置する場合の高低差は5m以内です。



配管工事の際は以下の点にご注意ください。
●必ず厚み10mm以上の保温工事をしてください。(20mm以上推奨。寒冷地では20mm必須。)
※保温工事がしてあっても、使用雰囲気温度が0℃以下になると配管が凍結するおそれがあります。機器や配管が破損する場合がありますので、配管用凍結予防ヒータ(お客様手配品)で適切な凍結予防対策を行ってください。
※保温工事が正しく行われていないと、配管の途中で放熱し正常な沸き上げができません。また冬期には凍結のおそれがあります。
●熱源機ユニット接続口までしっかり保温してください。
●地中配管や屋外など雨露のかかる保温箇所には、適切な防水処理をしてください。
●凍結のおそれがある配管、ドレン排水管および配管接続口のすべてに配管用凍結予防ヒータ(お客様手配品)を施工してください。
●ユニット間配管は凍結予防運転を行うため必ずしも凍結予防対策の必要はありませんが、10mを超える長配管の場合、あるいは-10℃近くまで気温が下がる地域の場合は、配管用凍結予防ヒータ(お客様手配品)を巻いてください。
●配管用凍結予防ヒータ(お客様手配品) 施工後の配管にも保温工事を施してください。
●保温材の取付けは、それぞれの配管について施工してください。(往き還り配管2本まとめての保温材巻きつけは行わないでください。)
●給湯温度が高温(65℃以上)となるため、必要に応じてミキシングバルブを設置してください。

CHP-300UK-2(標準仕様)配管例

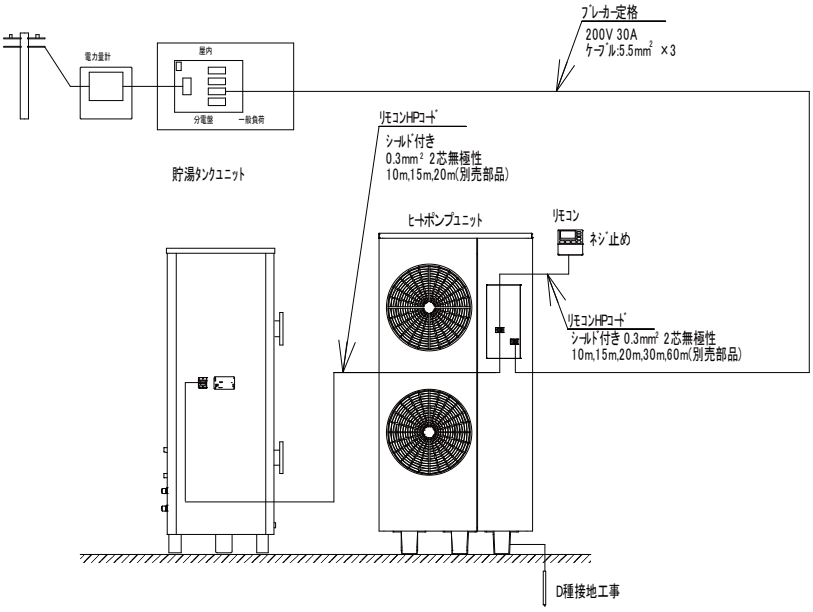
熱源機ユニット+貯湯タンクユニット



電気工事

電気配線工事概要

設置・施工



電気配線工事項目

① 電源配線・・・三相 200V・30A
② アース設置工事・・・D 種接地工事
③ リモコンコード配線
※リモコンコードは別売品のリモコン HP コード：RHKRC−20M6、RHKRC−60M6
を推奨します。
貯湯ユニットとヒートポンプユニットの接続はRHKRC-20M6を推奨します。
④ リモコン設置・・・別売品：CHP-R15 を使用
⑤ 貯湯ユニット電源ケーブル（ヒータ用）・・・お客様お手配品（φ1.25 mm² ×2（CVV 線））

①電源工事

- 電源は分電盤から専用回路を設けてください。
  （三相200V・30Aですので契約容量に配慮してください。）
- アース工事は、D種接地工事を施工します。

漏電ブレーカー定格とケーブルの太さ

定格電圧	三相200V
ブレーカー定格	30A
ケーブルの太さ	5.5mm²

機器定格	6kVA

注意事項

電気工事は電気工事士の資格を得た者が必ず作業してください。なお電気工事は経済産業省規程の「電気設備技術基準」及び電気協会、各電力会社規程の「内線規程」にしたがって行ってください。

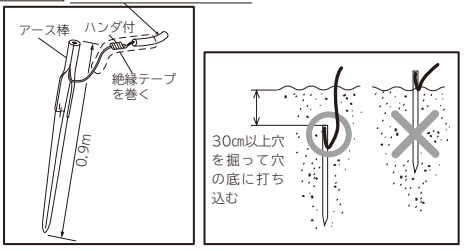
②アース（D種接地工事）

アース(接地）工事、必ずD種接地工事（接地抵抗100Ω以下）を行ってください。
アース棒・アース線は、規格適合品を使い、施工は電気工事士の資格が必要です。

- アース線の接続はハンダ付けで確実に行い、接触抵抗の変化がないように絶縁テープを巻き付けてください。
- 電気品取付板のアース端子に市販のアース線（緑色)でアース棒を接続してください。
- アース棒は地中深さ30cm以上の穴を掘り、穴の底に打ち込んでください。
- アース棒の頭が地表に出るような打ち込みはしないでください。
- 水道管、ガス管への接地及び他器具用アースとの共用はしないでください。工事完了後はアーステスターで接地抵抗100Ω以下を確認してください。

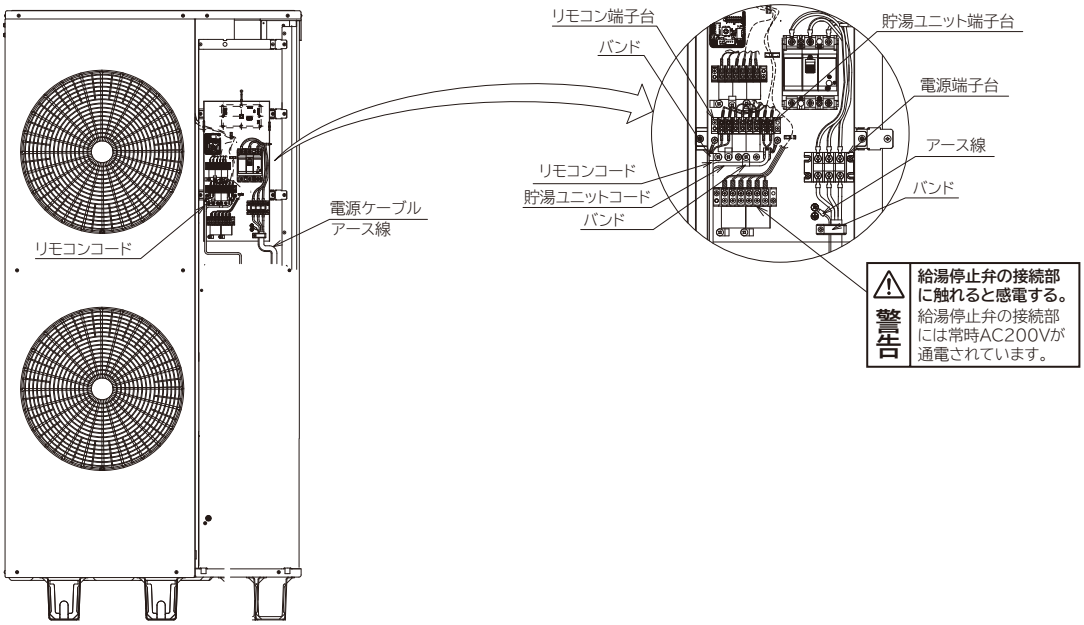
（漏電遮断器と併用する場合は、接地抵抗500Ω以下になることを確認してください。）

アース線の太さ　導線1.6φ又は2mm²以上



③ヒートポンプユニット（CHP-15HF）の内部配線工事

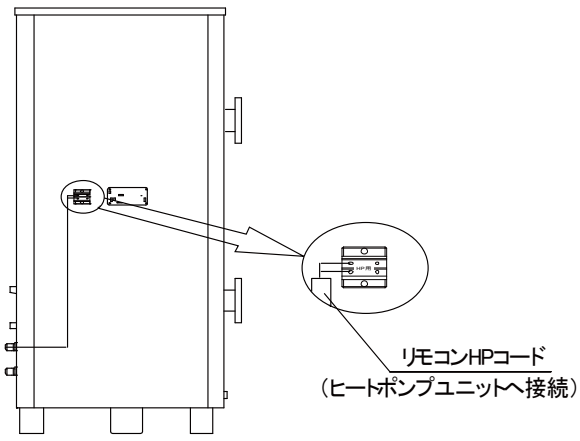
- 電源ケーブル及び各種コードは、下図に従い端子台等に導いてください。
  （電源ケーブルに、より線を使用する場合は丸端子を用いて電源端子台に接続してください。）
- 電源ケーブル及び各種コードは、端子台・コネクタに確実に接続し、バンドで固定してください。
- リモコンコードは、必ず別売のリモコンHPコードもしくはシールド付のコードを使用しシールドを接地してください。



④ 貯湯ユニットの内部配線工事

⚠ 注意

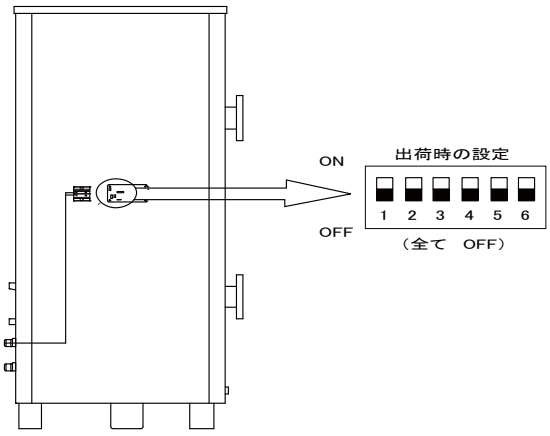
シールド接地線の接続は必ず片側（OUT側）のみとすること。両側で接地するとノイズ耐力が低下し通信異常となります。



⑤ 貯湯ユニットのディップスイッチ

⚠ 注意

ディップスイッチは、出荷時の状態のままで変更しないでください。



試運転

①試運転前の確認

試運転前に、下記の点を確認してください。

(1)据え付け強度は十分ですか。
(2)アース工事は完了していますか。
(3)各器具への配管が完了していますか。
(4)電源電圧は正常ですか。
(5)リモコンコードは確実に接続しましたか。

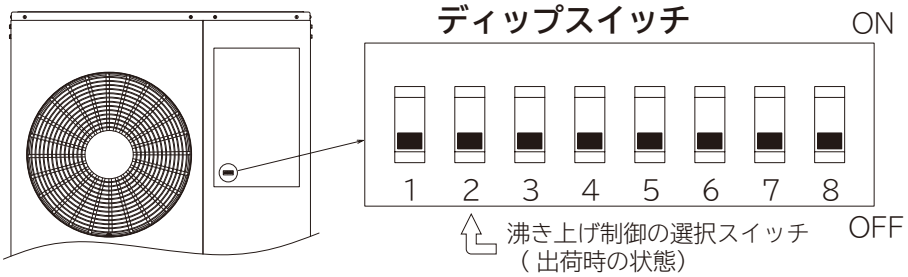
②ディップスイッチの確認

(1)号機の確認(複数台接続時)
複数台接続時の２号機以降は、必ずヒートポンプユニット内のロータリーディップスイッチがNo.2以降に変更されているか確認してください。**(変更方法は、「複数台接続」をP2－13**参照)

(2)沸き上げモード選択
ディップスイッチNo.2の操作により設定します。
先詰(ｵﾌ)：沸き上げ設定時間になると即沸き上げを開始します。
後詰(ｵﾝ)：沸き上げ設定時間終了時刻に沸き上がるように、沸き上げ開始時間を自動調整します。

(3)連動運転選択(1号機に追従)
ディップスイッチNo.7の操作により設定します。
単体(ｵﾌ)：通常の沸き上げ運転を行います。
連動(ｵﾝ)：1号機の沸き上げ運転に連動して運転を行います。

(4)外部信号入力
単体(ｵﾌ)：通常の沸き上げ運転を行います。
外部(ｵﾝ)：外部の入力信号により運転を行います。



Dip スイッチ No.	機能	スイッチ状態	
		オフ（初期値）	オン
1	バックアップデータクリア	なし	実行
2	沸き上げモード選択	先詰め	後詰め
3	―	常時OFF	
4	―	常時OFF	
5	お知らせ表示コード来歴クリア	なし	実行
6	―	常時OFF	
7	連動運転選択(1号機に追従)	単体	連動
8	外部信号入力による運転選択	単体	外部入力

※ スイッチ2および7, 8は設置時に設定する項目です。
※ スイッチ3, 4, 6は常時OFFとし操作しないでください。
※ 出荷時はすべてOFFです。

注意事項
DipスイッチNo.2(沸き上げモード選択), No.7(連動運転選択), No.8(外部信号による運転選択)は電源投入時に検出するため、電源投入前に設定してください。

⚠注意	※必ず、電源投入前にシステムに給水する。 据付後、電源投入すると、運転を開始します。

③システムへの給水

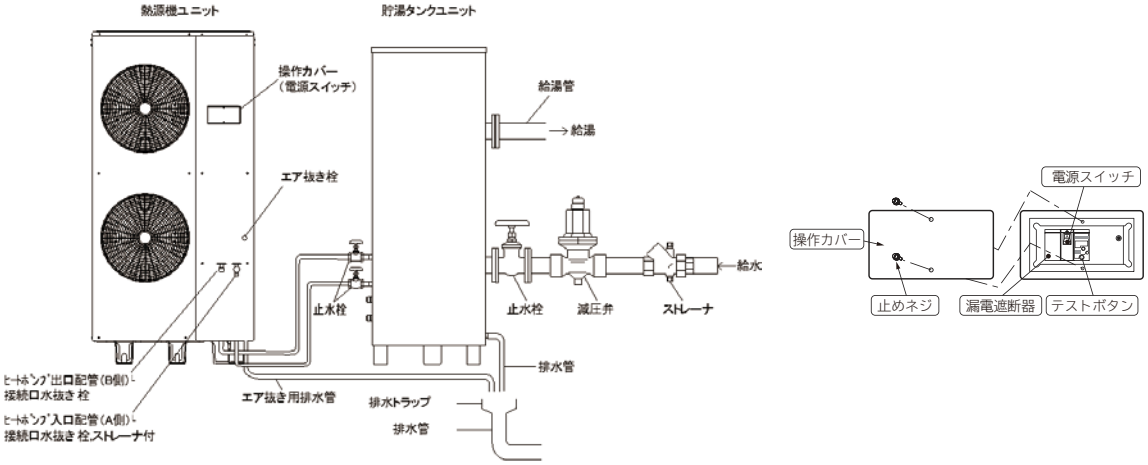
（1） シンクなどのすべての湯水混合栓が閉じていることを確認してください。
（2） 貯湯ユニットの排水栓およびヒートポンプユニットの水抜き栓、エア抜き栓が閉じていることを確認し貯湯ユニットの逃し弁のレバーを上げてください。
（3） 給水栓を開いてタンクに水を入れます。タンクが満水になると、排水管から水が出ます。
（接続配管径が指定より細い（排水抵抗大）と給水時に貯湯ユニット内の膨張水用ホッパーより水が漏れる恐れがあります。）
（ヒートポンプ配管に取り付けてある、止水栓を開けてください。）
（4） 満水になったら逃し弁のレバーを下げてください。
（5） ヒートポンプユニットのエア抜きの栓を開きます。
（6） ヒートポンプユニットのエア抜きが終了すると、エア抜き用排水管より連続して水が出てきます。連続して水が出たらエア抜き栓を閉めてください。
（ゴボゴボと音がしたり、水が断続するような場合は、エア抜きが終了していません。）
（7） 配管接続の各部分および機器内の各部より水漏れがないか確認してください。

④試運転

（1） ③システムへの給水を確認後、電源スイッチを「入」にします。200V 通電状態でヒートポンプユニットの操作カバーを開け、漏電遮断器（電源スイッチ）が動作することをテストボタンを押して確認してください。（下図参照）
（2） （1）確認後、再度電源スイッチを「切（OFF）」にしてください。
（3） 電源スイッチを「入」にし、試運転をしてください。（1～2 分の間に運転を開始します。）
（電源を入れるとリモコンのアラームが鳴りますので、「決定／アラーム音停止ボタン」でアラームを止めてください。）
（4） 試運転（30分以上）終了後、ストレーナーを清掃してください。
取付箇所は、ヒートポンプ A 側接続口にあります。（下図参照）
※ヒートポンプ A 側接続口のストレーナーを取り外す場合はヒートポンプ配管の止水栓を閉じてください。
（5） ストレーナー清掃後、各部より水漏れがないことを確認し、再度ヒートポンプユニットのエア抜きを行ってください。
（③システムへの給水（5）（6）を参照）
（6） リモコンで時刻設定を、正確に行ってください。時刻がズレると貯湯運転が正確に動作しません。
（7） リモコンの動作を確認してください。

各機能が正常に動作することを確認してください。正常であることを確認したら、お客様に立会いしていただきヒートポンプ給湯システムの各機器、リモコンの操作方法を説明してください。

お願い	・貯湯ユニットの排水の前に必ず混合水栓を開き、ぬるい水が出てくるまでお待ちください。 ・貯湯ユニット排水時に熱湯が排水されることを防止するため、貯湯ユニット内の高温水を水にしてから排水してください。



⚠注意	ヒートポンプ A・B 側配管の止水栓は、必ず開いた状態で運転する。 機器内部の破損の原因となります。

⚠注意	給水後、長期間使用しない場合で凍結の恐れがあるときは電源を切らない。 電源を入れてお かないと機器内部の配管、部品が凍結により破損する恐れがあります。

アフターサービス

消耗品の定期交換について

下記表記の部品は定期的に交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため定期的に交換してください。(下表参照) 交換(有償)、購入のご依頼は弊社 ENG課または最寄りの営業所・地区販売会社にご依頼ください。

HPユニット

部　位	部　品	交換の目安
冷媒回路	圧縮機	35,000時間
	電動膨張弁	10年
水回路	循環ポンプ	20,000時間
	凍結防止切換弁	5年
	流量センサ	5年
	Oリング	5年
送風機	ファンモータ	20,000時間
電気回路	インバータ	8年
	パワーモジュール	5年

貯湯ユニット

部　位	部　品	交換の目安
水回路	空気抜き弁	3年
	逃し弁	5年
	Oリング	3年

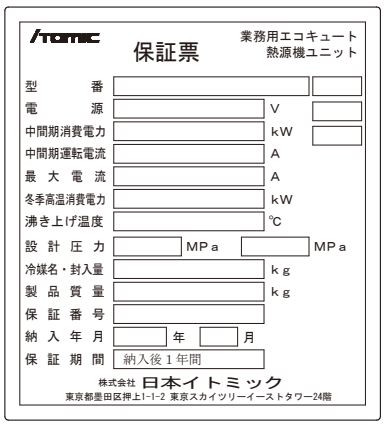
※これ以外にもパッキン類や電気部品交換が必要になる場合があります。使用頻度、環境によっては交換時期が早まる場合があります。

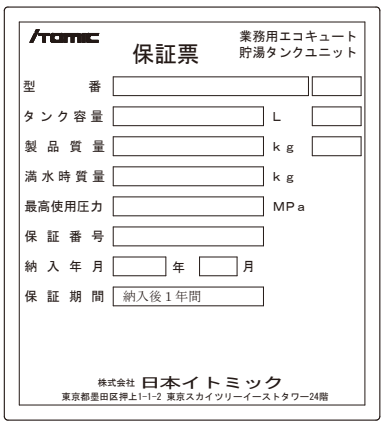
補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後７年です。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼になるときは、P.20の故障状況シートをコピーして必要事項にご記入いただき、FAXにてご送付ください。FAXをお使いでない場合は記入事項をお電話にてご連絡ください。
型式や保証番号等は本体貼り付けの保証票に印刷されていますので 、故障状況シートへ転記してください。





(株) 日本イトミック ENG 課　　FAX 03-3621-2130
TEL 03-3621-2133
※または最寄りの営業所・地区販売会社へご連絡ください。

故障状況シート			
貴　社　名		ご担当者名	
ご　住　所			
T　E　L		F　A　X	
製品型式	CHP- 300UK-2	設置場所	
電源、電力		保証番号	
納入年月	年　　月	保証期間	納入後 1 年間
状　　態			

MEMO

MEMO

株式会社日本イトミック

本社・営業本部 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2121（代）**
FAX：03（3621）2130
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリー イーストタワー 24F）
ホームページ　http：//www.itomic.co.jp/

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

一般電話・公衆電話の場合（市内通話料金でご利用可能です）

市内通話料でOK ナビダイヤル®

0570-011039

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。
※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。　その場合には、時間をおいて再度おかけ直しください。
※ＰＨＳ、ＩＰ電話からはご利用になれません。その場合には関東・近畿地区のお客様は ENG 課、その他の地域のお客様は最寄りの地区販売会社まで直接お電話ください。

ENG 課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2133**
FAX：03（3621）2130

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社 ENG 課までご連絡ください。
また、部品のご注文も ENG 課で承っています。

ENG 課 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2133**
FAX：03（3621）2130

《担当エリアと営業所・地区販売会社》

北海道地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：011（615）6681**
（株）北海道イトミック　**FAX：011（615）7004**
〒063-0801　北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10（ラポール 24 軒 2 号館）
担当エリア：北海道地区全域

東北・新潟地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：022（773）6161**
（株）東北イトミック　**FAX：022（773）6213**
〒981-3125　宮城県仙台市泉区みずほ台 4-3
担当エリア：青森県／岩手県／秋田県／山形県／宮城県／福島県／新潟県

関東地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：03（3621）2121**
（株）日本イトミック　**FAX：03（3621）2130**
〒131-0045　東京都墨田区押上 1-1-2（東京スカイツリー イーストタワー 24F）
担当エリア：東京都／千葉県／埼玉県／茨城県／栃木県／群馬県／山梨県／神奈川県／静岡県

中部・北陸地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：052（222）2561**
（株）日本イトミック　中部営業所　**FAX：052（222）2559**
〒460-0002　愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12（アレックスビル 3F）
担当エリア：富山県／石川県／福井県／岐阜県／愛知県／三重県／長野県

近畿地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：06（6226）0800**
（株）日本イトミック　関西営業所　**FAX：06（6226）0802**
〒541-0048　大阪府大阪市中央区瓦町 3-4-7（KC ビル 9F）
担当エリア：大阪府／京都府／滋賀県／和歌山県／奈良県／兵庫県

中国・四国地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：082（240）1361**
（株）日本イトミック　中国営業所　**FAX：082（240）1363**
〒730-0051　広島県広島市中区大手町 2-3-9（大手町中村ビル 2F）
担当エリア：鳥取県／島根県／岡山県／広島県／山口県／香川県／徳島県／愛媛県／高知県

九州・沖縄地区 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **TEL：092（481）3911**
（株）日本イトミック　九州営業所　**FAX：092（481）3930**
〒812-0007　福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5
担当エリア：福岡県／佐賀県／長崎県／大分県／熊本県／宮崎県／鹿児島県／沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

CHP0D15002-0　　'15.02-1-1-0 ①